平成22年度 事業評価(事業活動記録)

事業No. 735

								于人(10: 700		
所管部局	教育委員会	所	管調	社会教育課	担当者			井尻 智道		
事 業 名	調査研究事業					事	業分類	ソフト事業		
細事業名	調査研究事業					政	策体系	252		
会 計	一般会計	科	E	10. 教育 - 5. 社会 - 4. 資料						

1. 事業の概要

◆文化博物館

調査研究活動の成果として、博物館報・博物館だよりを発刊する。

◆郷土資料館

調査研究活動の成果として、調査報告書を作成する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

南丹市内の考古・歴史・民俗資料の調査・研究・収集を通じて、市内の文化の態様を明らかにする。その成果を市民・利用者と共有するとともに、これを次世代に継承し、地域の発展に役立つ「知の拠点」となることを目的とする。

②事業を実施する必要性

生活環境の変化や開発などにより、市内の歴史資料・民俗資料が失われつつある。このまま放置しておくと、先人がきずいてきた歴史遺産失ってしまうことになる。これらを有効活用するため、収集し、調査研究を行い記録としてとどめて置く責務が博物館・資料館にはある。

3. 事業費の推移

					単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決争	算額	またし	ま計画	額	千円	3,195	2,085	2,007	1,480	697	1,434	1,434
<u>ئ</u> ر	ち一般耶	哉・嘱託 給与おる	職・臨時	職の 費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財	使用	料•	手数料	半等	千円	0	0	0	0	0	0	0
源	国	• 府	支 出	金	千円	0	0	0	0	0	0	0
内	地	7.	ī	債	千円	0	0	0	0	0	0	0
訳	_	般	財	源	千円	3,195	2,085	2,007	1,480	697	1,434	1,434
職	員 等	の従	事人	員	人/年	-	1	0.51	1.30			
人		件		費	千円	_		1,659	3,219			
事	業	費	総	額	千円	_		3,666	4,699			

[※]事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。

4. 主な事業費の内訳

資料調査謝礼260,000円報告書作成等590,516円 (印刷製本費)調査委託料429,660円 (委託料)参考図書購入費199,605円 (備品購入費)

5. 事業結果の概要

書籍群「小出文庫」の調査 「博物館だより」の発刊

[※]千円未満を四捨五入し表示しているので、合計等が一致しない場合がある。

6. 活動の詳細

活	動	内	容	活動日又は時期	活動結果等				
(1)調査研究事業	(1)調査研究事業								
●文化博物館 博 あった小出氏の蔵 群「小出文庫」の 導の下行った。	本及び藩	校で使用	る歴代園部藩主で したとされる書籍 文学部中西教授指						
●日吉町郷土資料1 行った。	館 収蔵	庫の資料	整理を、図面化を						
(2) その他									
●活動報告書 一館だより」を発刊		物館活動	をまとめた「博物	3月発刊	南丹市に各戸配布				

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

資料調査に係る計画を行い、効率的な資料調査を実施することが必要。 埋もれた歴史や文化を掘り起こすことができる。 収蔵資料を中心に、調査・整理作業を行い、目録化等の作業を終えたあと、公開していく必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 資料調査に係る計画を行い、効率的な資料調査を実施すること。 ②当該事業のアピール事項
- ②当該事業のアピール事項 埋もれた歴史や文化を掘り起こすことができる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
- 収蔵資料を中心に、調査・整理作業を行い、目録化等の作業を終えたあと、公開していく必要がある。